

I. 調査研究

当事業団の医師・医療従事者による学会発表、外部講演会、また発表した論文等は以下のとおりである。

A. 学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題	開催地
横山 雅子	(2023.12.1-2)	第51回日本頭痛学会総会	「頭痛軽減のために産業医が介入できること」 「女性特有の状況を鑑みた職場での頭痛対策について」	横浜
船津 和夫	(2024.1.26-27)	日本総合健診医学会 第52回大会	「一般口演 脂肪肝」座長	倉敷

B. 外部講演

氏名	参加月	名称
横山 雅子	2023.12.6	島根県薬剤師会 松江支部講演会 Web開催 「就業者の頭痛を見守る」
横山 雅子	1月	「一般社団法人広島県医師会 令和5年度第2回 産業医研修会 「産業医に求められる頭痛の管理」
横山 雅子	2024.3.5	女性によりそう片頭痛Webセミナー 座長

C. 発表論文、その他雑誌・新聞等

論文名等	氏名	掲載雑誌名等
Computed Tomography Angiography Characteristics of Thin-Cap Fibroatheroma in Patients with Diabetes Mellitus Circulation;	Suzuki.K, Mizuno K.	Cardiovascular Intervention November 2023
" Coronary plaque characterisation: from proteomics to artificial intelligence"	Suzuki.K, Mizuno K.	欧州心臓病学会 (ESC 2023 Agu 23)

論文名等	氏名	掲載雑誌名等
「大学は体制改革で新産業創出を」	水野杏一	日経新聞「私見・卓見」
「神田氏辞任が呈した問題」	水野杏一	東京新聞

D.研究課題発表

当事業団では全部門が毎年、研究課題を設定し研究を行っている。本年度の研究は下記の通りである。

	課題名	所属
1	働きやすい職場づくり 5 ～職場におけるハラスメントについて 2 実態編～	事務局
2	胃内視鏡検査の未使用枠を有効利用	健診事務課
3	マイナ保険証の利用実績と課題	診療事務課
4	Helicobacter pylori感染と胃の所見調査（調査継続中）	看護部
5	特定健診問診票を用いた主観的咀嚼能力とメタボリックシンドロームの関係について	保健部
6	オプション検査実施の変遷と結果から受診者に検査の意義を提示する	保健部
7	GE社製マンモグラフィ装置セノグラフDSとプリスティーナの検討と比較（中間報告）	放射線部
8	白血球と血圧との関連について	臨床検査部